

令和7年度 工学研究院等自衛消防訓練

総合訓練 実施要領

- ① 総合訓練開始の時間までに材料・化学系棟または材料・化学系実験棟で待機。
動きやすい服装・履物で訓練開始の放送を待つ。

- ・ 訓練開始の放送（12時00分開始）

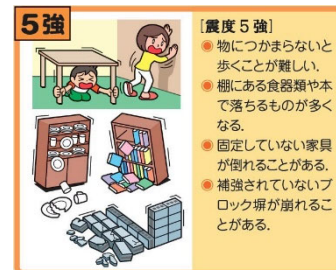
「訓練、訓練。これから工学部 材料・化学系棟および材料・化学系実験棟の自衛消防訓練を始めます。これから工学部 材料・化学系棟および材料・化学系実験棟の自衛消防訓練を始めます。ただ今、震度5強の地震が発生しました」

- ・ 地震警報音（放送） 約30秒間

「訓練、訓練。」チャイム音（4回）

「これは緊急地震速報の訓練です」（繰り返し）

- ② 地震が発生したら速やかに安全確保行動1-2-3を実施。
地震発生時の放送中、以下の「安全確保行動1-2-3」を行う。



出典：「効果的な防災訓練と防災啓発提唱会議」より

【参考】気象庁HPより抜粋「震度とゆれの状況」

（少し時間をおいて）

- ・ 火災報知器鳴動（材料・化学系棟で非常放送と非常ベルが鳴動）

「～警報音～ 火事です。火事です。火災が発生しました。落ち着いて避難してください。」

- ③ 建物から避難し、指定の避難場所へ避難。

非常放送や警務員室からの避難放送、自衛消防隊の避難誘導に従って避難場所へ避難する。なお、エレベーターは閉じ込めや下から上がってくる火の通り道となる恐れがあるため、使用しない。避難経路については、避難誘導や下記避難経路図に従うこととする。

※ 注意事項

避難の際には歩きスマホ等はせず、
押さない、走らない、しゃべらない、戻らない
の四原則を厳守するようにお願いいたします。

④ 避難場所に着いたら、参加者名簿に避難受付を行う。

避難場所に着いたら、部屋の代表者等は本部机にある参加者名簿に、「部屋番号」と「部屋から避難した人数」と「代表者の名前」を記入する。(筆記用具はこちらで用意します。)

※可能であれば事前に部屋の代表者を決めておくようお願いいたします。

⑤ 避難場所で講評まで待機。

消防署員による講評と工学研究院長挨拶ののち解散となる。

講評終了後、希望者は避難場所で水消火器訓練に参加する。

(希望者が多い場合は先着順となります。)



その他

- ・ 参加者は事前に本資料や安全の手引き等をよく読み、十分な理解をしたうえで訓練に参加をお願いいたします。
- ・ 動きやすい服装を着用し、サンダル・スリッパ等の着用はしないようお願いいたします。
- ・ 感染症対策でのマスク等の着用については、各自の判断をお願いいたします。